

高次脳機能障害

—当事者、家族、そして支援者の方々に—



絵・石井一隆(当事者)

なごみだより

令和7年度秋号(第45号)

とちぎ高次脳機能障害友の会 2025.10.15 発行

高次脳機能障害友の会 事務局
TEL 090-8726-5007 FAX 028-638-4322
e-mail info@tochigikoujinou.sunnyday.jp
URL <http://tochigikoujinou.sunnyday.jp>



この会報誌は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。



はじめに

秋風が頬をなで、空が高く澄みわたる季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

さて、皆さまに新しい障害福祉サービス開始のお知らせです。

既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、2022 年度の障害者総合支援法の改正で新設された、「就労選択支援」が 2025 年 10 月 1 日からスタートします。この新しい障害福祉サービスは、障害者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を利用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援するものです。対象になるのは、これから就労移行支援又は就労継続支援の利用を希望する方や、現在利用中の方です。サービスの利用開始時期は、個々の状況によって異なりますので、詳しい内容や利用についてご検討される方は、お住いの市区町村の障害福祉課窓口にご相談ください。

障害があっても「働きたい」「自分に合った仕事を見つけない」という思いを実現するためには、行政や専門機関の適切な支援が必要不可欠です。今回スタートする新しい障害福祉サービスが円滑に機能し、当事者の皆さんが自分らしい働き方を見つけるきっかけになることを願っています。

会長 徳元昌子



目次

	ページ
はじめに.....	1
活動報告.....	2 - 4
2025 年 10 月から 2026 年 2 月の活動予定.....	4
< 栃木県障害者総合相談所より >	5
寄稿（17 歳で脳梗塞を発症したご家族 S.T さんより）.....	6
講演会のお知らせ.....	6
とちぎ高次脳機能障害友の会【入会のご案内】.....	7

活動報告

定例会 6月14日(土) 13:30~15:30 ぽぽら 当事者5名 家族5名

はじめに、輪になって座り体と心をほぐすことからスタートしました。

次に、リボンを使って「風」や「海」など自由な動きを楽しみました。2人組になりリボンを持ち「相手と一緒に動きを作る」ことにもトライしました。自分のやりたいことと相手のやりたいことを混ぜ合わせるように一緒に踊り、豊かな創作のひとときでした。

パステル画では、「蟹」を描きました。パステル画では、指で直接、色を紙の上で伸ばしたり重ねたりします。力加減や色を広げる方向や広さを調整したりなど、感覚に集中することができます。また、絵を描く時間に没入することで、自然と気持ちが落ち着くような場となっていました。(大村)

定例会 7月12日(土) 13:30~15:30 ぽぽら 当事者5名 家族6名

定例会のはじめの体ほぐしでは、腹式呼吸を継続的に行っています。

腹式呼吸では、横隔膜を意識的に動かします。吐く息を長くすることで副交感神経が働きやすくなり、リラックスがしやすくなると言われています。「難しい!」と言われていた参加者の方も、吐く息を長くしましょうという声掛けで、ふ~っとゆっくり息を吐く姿が見られました。皆様の日常に少しでも活かしていただければ嬉しいです。

本日は、机を向かい合わせにして、参加者同士お話ししながらパステル画に取り組みました。

先月からの続きのテーマ「蟹」ですが、色が濃くなり背景の色も足され、より味わい深い作品になりました。それぞれの個性が光ります。(大村)



リボンを使った自由な動き



パステル画の様子

定例会 9月13日(土) 13:30~15:30 ぽぼら 当事者6名 家族7名

久しぶりに参加される方もいらっしゃり、嬉しい会となりました。本日は、参加者の皆様のパステル画「蟹」を、一つの模造紙に配置し大きな作品にまとめていきました。

後半は、お茶を飲みながら歓談の時間を過ごします。この時間が楽しみ、と言ってくれる方もいらっしゃいます。参加者の方が梨を差し入れしてくださり、皆さんで季節の味を楽しみながらおしゃべりをしました。近況をお話ししたり、情報交換をしたりしました。

たわいもない話を交わしたり、定期的に顔を合わせることが、互いの安心感やつながりを育む大切な時間になっています。(大村)



お茶を飲みながら歓談



蟹のパステル画作品

家族の集い 7月23日(水) 13:00~15:00 宇都宮中央市民活動センター 参加者8名

役員会 6月12日(木) 参加者5名 7月17日(木) 参加者5名 9月10日(木) 参加者5名

○ 電話相談	6月——6件	7月——1件	8月——3件
○ メール相談	6月——1件	7月——1件	8月——6件

寄付のお願い —いつも大変助かっております—

引き出しの奥に眠っている古いハガキや切手、テレホンカード、また書き損じのハガキや年賀状などございましたら是非ご寄付下さい。切手や新しいハガキに交換して活動の一助にさせていただきます。

その他の活動報告

赤い羽根共同募金聴取調査

6月23日(月) 参加者1名

ナスバ(独)自動車事故対策機構栃木支所訪問

6月24日(火) 参加者1名

高次脳機能障害講演会打ち合わせ

7月28日(月) 参加者1名

2025年10月～2026年2月までの活動予定

10月 4日(土)	社会体験研修	益子方面	
11月 1日(土)	栃木県障害者文化祭 パネル展示	とちぎ福祉プラザ	
	(カルフルとちぎ こころのつどい)		
11月 8日(土)	定例会	ぽ・ぽ・ら	13:30～16:00
11月 22日(土)	駒生園家族教室	講師1名	
11月 26日(水)	家族の集い	宇都宮市中央市民活動センター	13:00～15:00
11月 29日(土)	損保協会助成高次脳機能障害講習会	後援協力・家族会紹介	
11月 29日(土)	ナスバ(独)主催シンポジウム	登壇1名	
12月 13日(土)	クリスマス会	ホテル東日本宇都宮	
	※詳細は後日連絡	イタリアンレストラン「フォンターナ」	
1月 17日(土)	定例会	ぽ・ぽ・ら	13:30～16:00
1月 28日(水)	家族の集い	宇都宮市中央市民活動センター	13:00～15:00
2月 14日(土)	定例会	ぽ・ぽ・ら	13:30～16:00





令和7年度 高次脳機能障害ピアサポーター事業について

栃木県では、令和6年度から、高次脳機能障害のある方のご家族の心理的負担軽減や社会的孤立を防ぐことを目的として、高次脳機能障害ピアサポーターの養成と派遣事業に取り組んでいます。「とちぎ高次脳機能障害友の会」の皆様にもご協力いただき、養成講座を修了された5名の方々に、ピアサポーターとして活動いただいています。

どのような立場の人が高次脳機能障害ピアサポーターになれますか？

○高次脳機能障害のある方のご家族を対象としています。



ピアサポーターになるには、どうしたらよいですか？

○県が開催する、全3回の「ピアサポーター養成講座」を受講していただきます。

令和7年度のピアサポーター養成講座は、実施済みの回を含め、以下のとおり開催しています。
(第1回)9/19(金)、(第2回)10/6(月)、(第3回)10/22(水)

○受講できなかった回(内容)については、次年度受講いただくことで、ピアサポーターとしての登録が可能です。



高次脳機能障害ピアサポーターは、どのような活動を行いますか？

○高次脳機能障害児者のご家族が集まる場において、同様の立場として、互いの体験を分かち合いながらお話を聴いたり、経験に基づく情報提供を行っていただきます。

○また、研修会等において、様々な立場の受講者を対象に、体験談を紹介いただく等、障害に対する理解を広げる取組を行っていただく場合があります。

(これまでの活動例)

- ・ 社会福祉協議会主催の地域住民を対象とした講座や、支援関係者(ケアマネジャー等)がスキルアップを目的に開催する研修、医療職養成校授業での体験談の紹介
- ・ 医療福祉機関が主催する家族教室での対応 等



よくあるご質問

○ピアサポート活動の頻度や時間は？

⇒1回当たり1～2時間、年間で数回程度を予定しています。ご家庭の事情やピアサポーターご自身の都合をうかがい、調整させていただきます。

○ピアサポート活動に興味はあるけれど、少し不安です。どのようなサポートがありますか？

⇒2人以上で活動いただくことを基本とし、毎回相談所の担当職員が同行します。

また、年度末にフォローアップ研修を予定しています。

支援関係者の皆様へ ～ピアサポーターを研修や家族交流会等に活用しませんか？～

- ・ 障害の基本的理解や制度等に関する「県政出前講座」と併せて実施する形式も好評です。
- ・ また、高次脳機能障害のある方を実際に支援している方々が、スキルアップを目的として養成講座を受講いただくことも可能ですので、お気軽にお問合せください。



【問合せ先】

栃木県障害者総合相談所 発達・高次脳機能障害支援課 (028-623-6114)
案内HP: <https://www.pref.tochigi.lg.jp/e65/kouji/pia.html>



寄稿 (17歳で脳梗塞を発症したご家族S.Tさんより)

2021年息子が高校2年の2月、部活動中に突然倒れました。診断は脳動脈解離による脳梗塞。17歳という若さでの発症は極めて稀で、コロナ禍初期の混乱も重なり、治療は難航しました。開頭手術や気管切開を経て、右半身麻痺、失語症、高次脳機能障害という大きな後遺症が残りました。

医師からは「左脳の3分の1以上を失っており、右半身麻痺以外に高次脳機能障害と言う言語障害や計算障害や他にもいろいろ障害が残るだろう」と告げられました。親としては大学進学は到底無理だろうと思いましたが、それでも息子は「研究者になる」という夢を一度も諦めません。

退院後もてんかん発作に悩まされながら、高校を1年留年し、学び直しました。驚いたのは、計算障害に苦しみながらも、

好きだった数学だけはある程度理解できていたことです。これが息子にとって大きな支えになったように思います。

そして21歳になった今、工学部の大学3年生として研究への道を歩んでいます。右手も言葉も不自由なままですが、それでも「研究者になる」という夢を追いつけています。

私は今でも、「どうして片手で、言葉にも不自由があるのに研究者なのか」と不思議に思うことがあります(笑)。けれども、息子の強い思いと努力こそが、ここまでの道を切り開いたのだと思います。

脳には可塑性があり、時間をかければ回復していくと言われます。まだ課題は多いですが、息子は「自分の未来は自分で切り拓く」と信じ、挑戦を続けています。その姿を、私はこれからも見守り続けたいと思っています。

ナスバ(独立行政法人自動車事故対策機構)主催のシンポジウムのお知らせです。よろしかったらお出かけください。

「お互いが寄り添いあえる社会を目指して」 ～障がいと共に生きる人生と将来のビジョン &今後の自動車社会について～

「高次脳機能障害を負った息子との日々
そして家族のビジョンについて」
**山岡 寿美江 さん** (栃木県在住)
(そでやま すみえ)
息子(そでやま たくや)の母

「不便だけど不幸じゃない」
絵画の世界が心を潤す
**渡邊 成一 さん** (栃木県在住)
(わたなべ せいいち)
「ギャラリー横風」代表

息子が25歳の時交通事故に遭い脳損傷し意識不明となる。治療により救命するが、高次脳機能障害と身体障害が残った。高次脳機能障害の様々な症状があるが、息子は自覚がなく前向きに生活している。今までの経緯や症状を知ってもらうことで、高次脳機能障害について多くの方々に理解を深めてほしいと思っている。

1986年交通事故により頸椎を損傷し車いす生活となり、リハビリの一環と生きがいのため絵画習得に励む。
1998年地域の文化交流の場として「ギャラリー横風」を設立し、活動中。また、ナスバ栃木支所に設けているナスバギャラリーにも絵画を数点展示しており、来所される方々の癒しとなっている。

「自動車の安全技術の進化」

株式会社 本田技術研究所 (栃木県)
先進技術研究所 知能化・安全研究ドメイン
チーフエンジニア 郡司 泰明 さん(ぐんじ やすあき)
2006年(株)本田技術研究所入社。以降、四輪の歩行者・自転車乗員、乗員保護技術の研究に従事。現在は、二輪の安全技術に関する研究を通して、二輪、四輪、歩行者、自転車乗員など、すべての交通参加者の安全・安心な交通社会の実現に向けて業務推進を行っている。



シンポジウム

各講演者とナスバ
栃木支所職員との
シンポジウム

参加料 無料 開催日 **11月29日(土)** 13時15分 開始(12時 開場)
16時30分 終了予定

会場 **とちぎ福祉プラザ 1階 多目的ホール**
(宇都宮市若草1丁目10番6号 ☎028-621-2940)

お申込みは裏面へ

申込方法

ナスバ(独立行政法人自動車事故対策機構)
栃木支所 <担当: 嶋田、尾上、福富>
FAX: 028-651-2703 電話: 028-651-2701
メール: tochigi-houmon@nasva.go.jp



申 込 書	
お名前(フリガナ)	
お名前(漢 字)	
電 話 番 号	
会 社 名 等	
お名前(フリガナ)	
お名前(漢 字)	
電 話 番 号	
会 社 名 等	
お名前(フリガナ)	
お名前(漢 字)	
電 話 番 号	
会 社 名 等	



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。

[12時開場、13時15分開始]

とちぎ高次脳機能障害友の会 入会のご案内

高次脳機能障害者（児）とその家族が悩みを話したり、医療や福祉に関する情報を交換したり、理解ある方々の支援の下一人一人の可能性を伸ばし、楽しみや生活の目標を見つけて地域の中で暮らすことができるよう活動しています。一人で悩まずに共に活動していきましょう。

高次脳機能障害のある方、ご家族、ご理解・ご支援くださる方、正会員または賛助会員として関わって一緒に活動していきませんか。応援してくださる方も賛助会員として随時募集しております。

【活動内容】

- ・ 定例会
- ・ 講演会 ・ 学習会
- ・ 会報誌(なごみだより)年3回発行
- ・ 家族相談会 ・ 家族の集い
- ・ 研修旅行 ・ クリスマス会 等

【主な活動場所】

ぱぽら

〒320-0032 宇都宮市昭和2-2-7

TEL 028-623-3455

※県庁西側 税務署北側

【年会費（一口）】

正会員(個人・家族・支援者)	3,000円
賛助会員(個人)	2,000円
賛助会員(団体)	5,000円



【ご相談や入会・見学希望の方は、
電話または e-mail でご連絡下さい。】

とちぎ高次脳機能障害友の会 事務局
会長 徳元

電話 090-8726-5007

e-mail info@tochigikoujinou.sunnyday.jp



ホームページはコチラから

とちぎ高次脳機能障害友の会

検索

URL <https://tochigikoujinou.sunnyday.jp/>

編集後記

まだまだ日中は暑い日が続きますが、朝晩少しずつ秋らしくなってきましたね。皆さん夏の疲れは残っていませんか？

先日、携帯電話に「あなたのアドレスがオンラインのホワイトボードに載せられています。前に自分も同じようなことがあり心配でメールしました」という内容のメールが送られてきました。最初は無視していましたが、こちらを心配する誠実そうなメールが再度送られてきて、思わず信用して「削除できますか？」と返信してしまいました。その後、ネットで調べると一斉に送信されている迷惑メールだということが

判明しました。詐欺の事件をニュースで聞くと「私は大丈夫」と思っていたのですが、いやはや・・・まんまと引っかかってしまいました。途中で気づいたので被害はありませんでしたが、皆さんも気を付けてくださいね。(柳)

会報作成担当

表紙・絵： 石井一隆

本文編集： 柳美由紀 袖山寿美江

印刷・製本：(有) 芯和 Cocowa®